

## ▶授業の目的と概要

彦根市が 2024 年をめぐりに市のシンボルであり滋賀大彦根キャンパスに隣り合う「彦根城」の世界遺産登録を目指す動きに合わせ、彦根商工会議所の委託により、世界遺産を通して、学生たちに地域づくり、観光政策、地域文化の保存と活用などを学ぶ場を、一流の専門家である本学教員およびゲスト講師により提供する。2019 年にはパリのノートルダム大聖堂や首里城が火災に見舞われ、世界遺産の建造物や遺跡が被災する悲劇が起きた。これに加えて、現在の全世界規模でのコロナ禍が世界遺産及び文化財に及ぼす影響も懸念される。そこで本年度は、世界遺産が直面する様々な危機と共に、その保全、さらに継承に向けた課題という新たな視座を導入する。国内外の世界遺産の現状や課題を学習しながら、登録のメリット、デメリットを明らかにし、登録後のビジョンを提示し、文化遺産を通し学生にとって身近な地域と世界の今後について議論できるようになる。また、まちづくりや文化政策に興味を持ち、地元でのみならず世界の文化遺産の保存・活用などに積極的に取り組める人材の育成も視野に入れる。

※授業は原則として対面で実施するが、新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、オンラインとの併用で実施する。

担当教員	経済学部 真鍋 晶子 教授 青柳 周一 教授 他
開講曜限	金曜日 4 限 (14:30~16:00)
開講日	4 月 9, 16, 23, 30 5 月 7, 14, 21, 28 6 月 4, 11, 18, 25 7 月 2, 9, 16
ゲスト講師 教科書情報	<p>&lt;ゲスト講師&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青柳正規氏 (前文化庁長官・多摩美術大学理事・東大名誉教授)</li> <li>・山田泰造氏 (文化庁文化資源活用課文化遺産国際協力室長)</li> <li>・松浦晃一郎氏 (ユネスコ第 8 代事務局長・元駐フランス共和国特命全権大使)</li> <li>・佐藤禎一氏 (元文部事務次官)</li> <li>・河野俊行氏 (前イコモス会長、九州大学理事)</li> <li>・中島誠一氏 (元長浜曳山博物館館長)</li> <li>・田名真之氏 (沖縄県立博物館・美術館長)</li> <li>・小林准士氏 (島根大学学術研究院人文社会学系教授)</li> <li>・鈴木達也氏 (滋賀県文化スポーツ部文化財保護課／彦根城世界遺産登録推進室)</li> <li>・小林 隆氏 (彦根城世界遺産登録推進室)</li> <li>・滋賀大学教員等</li> </ul> <p>&lt;参考書&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「「世界遺産」の真実:過剰な期待、大いなる誤解」佐滝剛弘著、祥伝社、2009</li> <li>・「世界遺産学を学ぶ人のために」奈良大学文学部世界遺産を考える会編、世界思想社、2000</li> <li>・「世界遺産学への招待」安江則子著、法律文化社、2011</li> </ul> <p>※ 特定の教科書は使用しないが、理解の一助となる参考書として推奨</p>